

健康補助食品「玄米酵素」を推奨

「食事道」の実践を提唱

玄米酵素

岩崎輝明

「食生活の改善で真の健康を届ける」を理念に展開する玄米酵素(本社北海道、鹿内正孝社長、☎011-736-2345)は、「食事道」の実践を提唱しており、それを補完するものとして、健康補助食品「玄米酵素」を推奨している。同社は玄米酵素(学術名はFBR A、フブラ)の有効性について科学的解明を続けており、多数の特許を取得している。同社が科学的研究に取り組み始めたきっかけは、一つの冤罪事件にあったという。同社の岩崎輝明会長に話を聞いた。

——貴社の提唱する「食事道」について聞きたい。

岩崎 「食事道」というのは、正しい食事の在り方に関する考え方だ。物を丸ごと食べる——

が基本となる。戦後、がんや糖尿病、心臓病、脳卒中といった病気に陥る人は増えたのは、食生活



「食事道」を実践した上で、さらに足りないところを補つのに役立つのが当社の「玄米酵素」だ。完全食である玄米を発酵させることで、吸収をよ

くしている。ビタミンBなどについては発酵により増えることがわかって

いる。正しい食事を実践すれば、腸内細菌叢も改善し、ホルモンバランスや自律神経なども整って

「食事道」と「玄米酵素」は絶やしてはならない

の乱れこそ原因がある

と私は考えている。「根を治せば、樹はおのずと育つ」とはよく言ったもので、病という枝葉末節を治すことよりも、まず

は食事という根本を正すことの方が大切だ。当社は以前から、「食生活の改善で真の健康という幸

せを届ける」ということを理念に掲げやってきた。

——貴社の「玄米酵素」について、エビデンスの取得も積極的に行っているということがあるが。

岩崎 研究成果を元に、特許の取得を積極的に進めている。大腸がん関連では日米韓で特許を取得している。肝臓がんについては日本で特許を取得。糖尿病関連の特許も取得した。活性酸素・

岩崎 研究結果を元に、特許の取得を積極的に進めている。大腸がん関連では日米韓で特許を取得している。肝臓がんについては日本で特許を取得。糖尿病関連の特許も取得した。活性酸素・

岩崎 エビデンス取得に注力するようになったのは、一つの冤罪事件に巻き込まれたのがきっかけだ。96年に、「玄米酵素」に甲状腺ホルモン系の医薬品を混入して販売しているという疑いが当社にかけられ、警察の捜査が行われた。実際には

「玄米酵素」を絶やしてはならないという思いから、複数の世界的な研究機関で薬剤の混入がないことを証明し、身の証を立てた。事件をきっかけに、機能性の研究にも力を注ぐようになり、今日までに、これだけの成果を蓄積することができた。今思えば、神様が与えた試験だったのかも知れないと感じている。

岩崎 「食事道」というのは、正しい食事の在り方に関する考え方だ。物を丸ごと食べる——

岩崎 エビデンス取得に注力するようになったのは、一つの冤罪事件に巻き込まれたのがきっかけだ。96年に、「玄米酵素」に甲状腺ホルモン系の医薬品を混入して販売しているという疑いが当社にかけられ、警察の捜査が行われた。実際には

岩崎 エビデンス取得に注力するようになったのは、一つの冤罪事件に巻き込まれたのがきっかけだ。96年に、「玄米酵素」に甲状腺ホルモン系の医薬品を混入して販売しているという疑いが当社にかけられ、警察の捜査が行われた。実際には

岩崎 エビデンス取得に注力するようになったのは、一つの冤罪事件に巻き込まれたのがきっかけだ。96年に、「玄米酵素」に甲状腺ホルモン系の医薬品を混入して販売しているという疑いが当社にかけられ、警察の捜査が行われた。実際には